

沖縄でオリンピックを考える～鵜飼哲 講演会

4・27(那覇)、4・29(名護)

※録画公開も予定しています



1964年9月8日、久志村嘉陽(現・名護市嘉陽)での「聖火リレー」式典

4月27日(火) 17時半～20時半

司会進行 呉世宗(琉球大学)

なは市民活動支援センター(定員30人)

(那覇市銘苅 2-3-1 なは市民協働プラザ2階会議室
098-861-5024 地下駐車場 有料)

4月29日(木・休) 14時～17時

司会進行 稲垣絹代(名桜大学名誉教授)

21世紀の森公園体育館 会議室(定員40人)

(名護市大南 2-1-1 0980-53-6890 駐車場無料)

※両会場とも資料代300円

※後日、講演録画を公開します。。



世界でいまだ続く感染パンデミック、そして沖縄・日本で第4波の最中の今、辺野古そして宮古・石垣の自衛隊基地建設の工事同様、現政権は「東京オリンピック」を強行しようとしている。5月1日と2日に沖縄島、石垣島、宮古島を「聖火」が通る。昨年出版した『まつろわぬ者たちの祭り 日本型祝賀資本主義批判』のなかで「国民のお祭り」としての東京オリンピックと天皇代替わりを鋭く批判した鵜飼哲さんと一緒に、あの戦争で傷つき、琉球弧の軍事化が現在進行中のここ沖縄で、オリンピックの歴史を振り返り、わたしたちが生きる「現在」と「未来」を考えたい。

※感染状況が拡大した場合は、後日録画を公開する形式で開催します。

鵜飼哲 1955年東京生。

一橋大学名誉教授。フランス文学・思想、ポスト植民地文化論。著書に『抵抗への招待』(1997)、『応答する力』(2003)、『主権のかなたで』(2008)、『ジャッキー・デリダの墓』(2014)、『テロルはどこから到来したか』(2020)、『まつろわぬ者たちの祭り』(2020)など。



申し込み 電話 090-8796-5112

メール bykfg027@yahoo.co.jp (稲垣)

主催 鵜飼哲講演会実行委員会

共同代表 呉世宗(琉球大学)

稲垣絹代(名桜大学名誉教授)